昭和51年6月　日　2号『かたくり』　51.6.7.(月)

発行 東川作業隊
文責 松崎作業隊長
編集 新田ノ曹

竣工

岐登牛山自然道

五月七日から六月八日までの丁度一ヶ月好天に恵まれ、岩も出ず順調に完成することは本当に町民の皆様と共に喜こびたいと思います。

団長の視察を受ける。

五月二十五日定刻十二時に到着され、休憩の後、会食、訓話を受け状況報告、現場指導、勇駒別見学など精力的に行動され、午後十時次の視察地である東神楽に出発されました。

竣工式時程、

〇八三〇～〇九三〇　竣工検査
〇九三〇～一〇〇〇　検査完了報告、状況報告
一〇〇〇～一〇三〇　竣工式、引渡書交換
一一〇〇～一二三〇　祝宴

創作『恋文』(昭和三十八年頃)同級生

突然の手紙御許し下さい。思えば小学校五年生頃からずっと同じ学校、しかも、中学三年から同クラス高校も同じ、その上三年になって又同クラスになりましたね、いつ頃から貴女やんが好きになったのか良く解りませんが昨日も校門の前の橋を渡ってる君を、バレーの練習の手を休めてながめていました。友の山下も云うんです。盛ちゃん近ごろ元気がない、サーブは思い切ってやってるが動きに悩みがある様だ！と悩みはそれだけではないんです。でも初めて出す手紙で失礼かと思います。これからも友達になって下さい。そして僕の悩みを聞いて下さい。(乱筆する失礼を御許し下さい)

東神楽作業隊を交流

東神楽作業隊長高木曹長と東川作業隊長松崎曹長は同じ団内の作業隊長として初対面ながら隊長としての折衝、技術的なことと天候のこと安全管理のことなど共通する苦労話に花がさき、今では一度一緒にのもうと約束した仲になっている(そんなに苦労があったかなー)

山野菜

レストラン東川の閉店も近ずいた進入初期を回想しているところです。山野菜を良く食べたタラの芽に始まりフキ、ウド、根ワサビ、思い出の一つになることでしょう。

作業隊ミニニュース

一、ブヨとの戦い。
ブヨが猛襲して来る。手を振る。右手がだるくなると左手、左手もだるくなると場所を変える。人間様の負けである。
主として出る場所、道路の沿に近いヤブ地附近、石の多い所は少ない。天候、むし暑く雨の降りそうな日風の少ない日以上三つの条件が揃うと虫よけのスプレーぐらいでは、次から次へと新手をくり出し首すじ、半長靴の中まで侵入して来る。御用心御用心

一、石その後、
石の正しい名前は角閃石、とにかく堅い。自衛隊がカタイと云ったってこれ程もないだろう。グラインダーを借りて来て三十分程掛けてみるも……この上はワックスを塗って……

楚々と咲く
カタクリの花
母懸うる。(小西)

いわみざわ　離れてくらす
一月を　すずめの睦みに
心ぞやかん。(新田)

編集後記

一ヶ月の工事では忙がしいばかりで余裕のないのが実情ですが町役場を初め皆様の御厚意によって気持良く仕事をやり遂げたすがすがしい気持で東川町を離れることをうれしく思います。